

ダイヤモンド就活ナビ2023

モニターレポート 1月調査



【調査概要】

- 調査対象 / 2023年3月卒業予定の大学生・大学院生
- 有効回答 / 627名
- 調査期間 / 2022年1月7日(金)～2022年1月16日(日)
- 調査方法 / WEB入力フォームより回答

■ モニターレポート 1月調査内訳

文理	文系:73.7% 理系:26.3%
エリア	北海道:5.6% 東北エリア:2.7% 関東エリア:66.7% 甲信越エリア:2.7% 東海・北陸エリア:4.0% 関西エリア:12.3% 中四・国圏エリア:4.9% 九州・沖縄エリア:1.1%
回答の多かった大学	日本大学 中央大学 慶應義塾大学 早稲田大学 関西学院大学 専修大学 明治大学 法政大学 日本女子大学 東京大学大学院 同志社大学 共立女子大学 南山大学 東京理科大学大学院 東京大学

トピックス

- 1 インターンシップ類
参加状況**

インターンシップ類に参加した学生は72.7%(22卒)→79.3%(23卒)、
参加日数は半日が最多だが2～4日が29.8%(22卒)→33.7%(23卒)と増加、参加社数は5社以上が最多
- 2 インターンシップ類
からの応募状況**

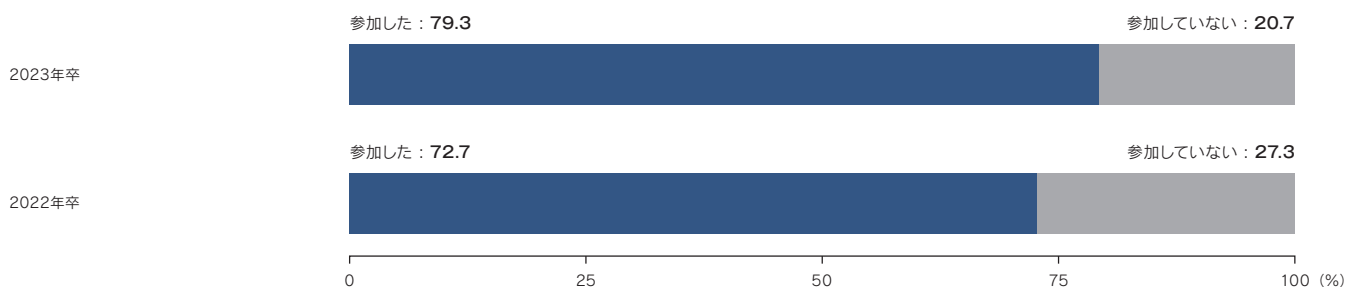
インターンシップ類に参加して、企業への志望度が「上がった」と回答した学生は
82.1%(23卒)となり、95.2%(23卒)の学生が「採用募集に応募する」と回答
- 3 選考状況**

採用選考の進捗状況では「エントリーシート提出」73.8%(23卒)、
「個別企業のセミナー・説明会参加」67.7%(23卒)、「筆記・適性テスト」61.5%(23卒)の順に
- 4 就活観**

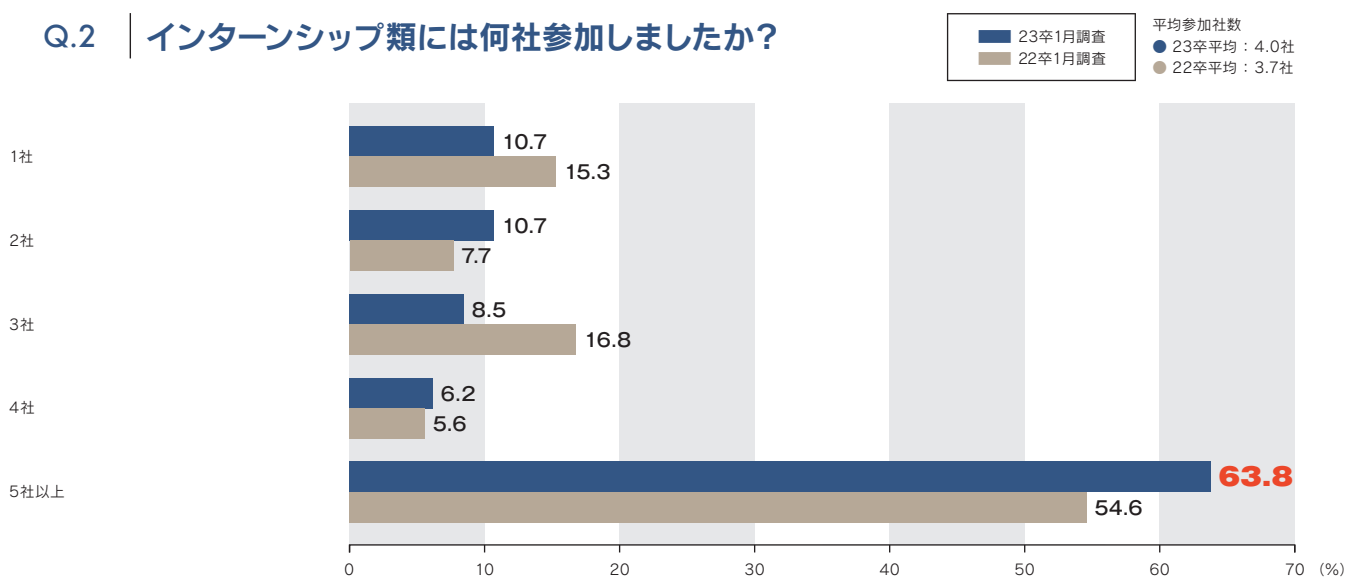
56.2%(23卒)の学生が「苦戦するかもしれない」と回答しているが、
「大いに楽観視している」「比較的楽観視している」が11.8%(22卒)→23.0%(23卒)と大幅にアップ

1 インターンシップ類参加状況

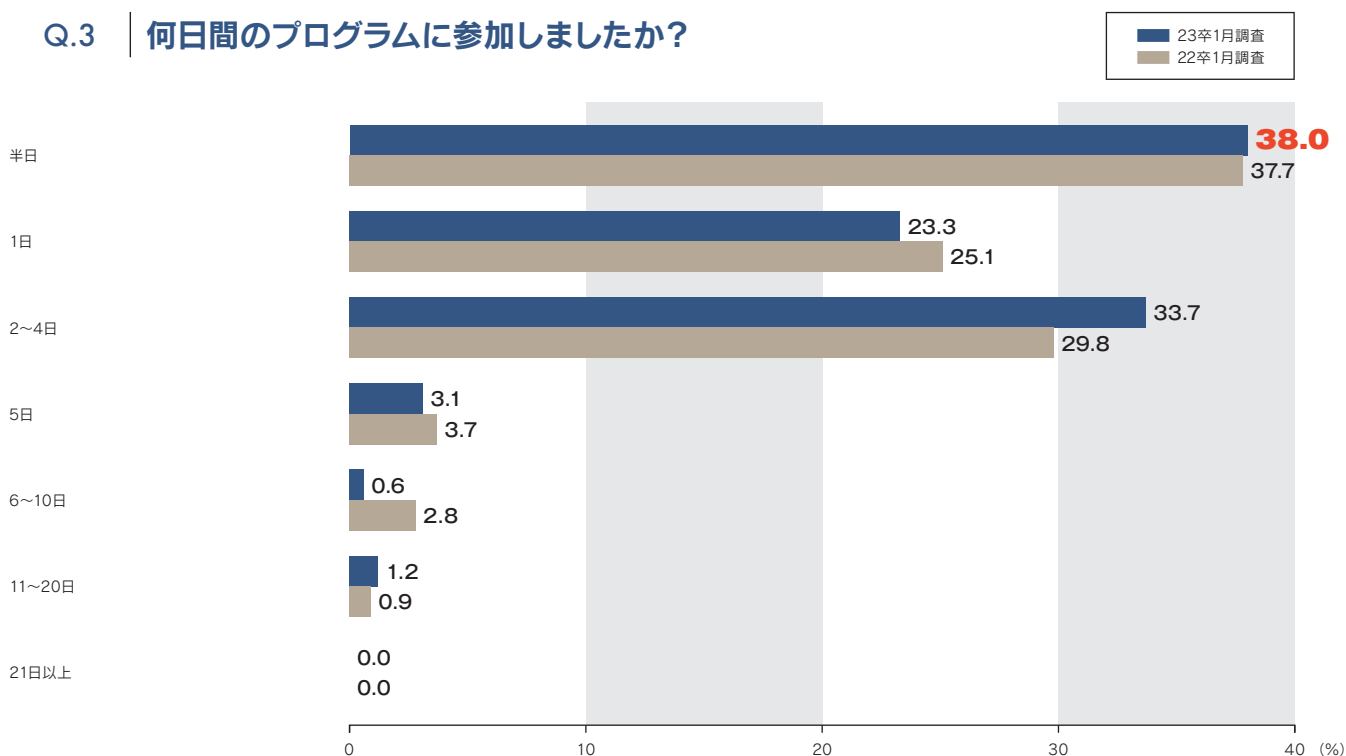
Q.1 | 今年度の企業主催のインターンシップ類に参加しましたか？



Q.2 | インターンシップ類には何社参加しましたか？

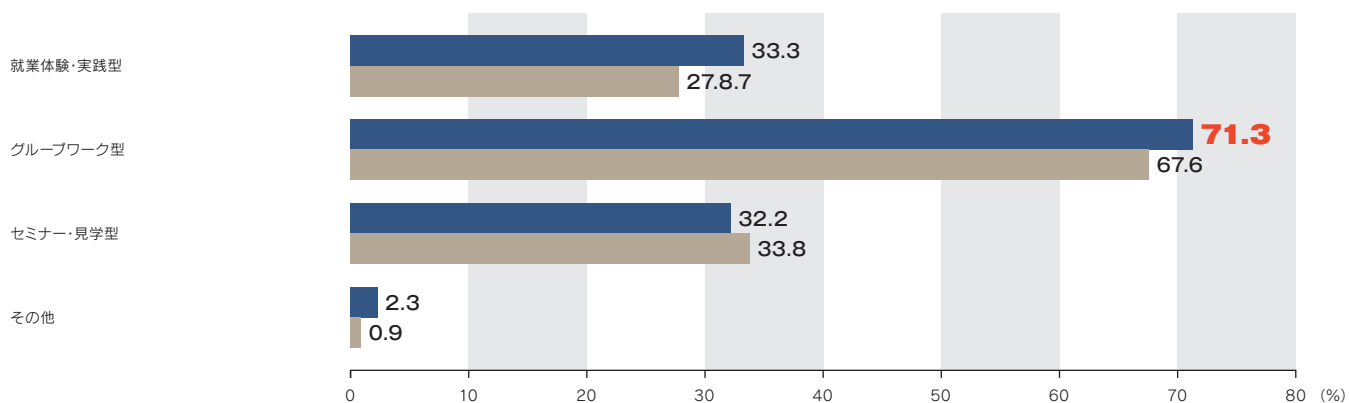


Q.3 | 何日間のプログラムに参加しましたか？



Q.4 | どのような実施内容でしたか？

■ 23卒1月調査
■ 22卒1月調査



実施内容事例

業種	参加日数		実施内容	具体的なプログラム内容	企業への印象	その理由
物流	2～4日	就業体験・実践型／グループワーク型	●物流業界の仕組みを学ぶためのボードゲーム	対面	その企業で働きたいと思った	感染対策をした上で学生のために対面のインターンシップを実施してくれ、やはりオンラインでは伝わらない会社内の雰囲気などを知ることができたから。
住宅	2～4日	就業体験・実践型／グループワーク型	●提案型のグループワークで人事(元営業職)の方に自分たちのオリジナルの家を提案する	対面	その企業で働きたいと思った	集まったメンバーがとても良い人たちで、この人たちのような人が集まる会社で働きたいと心から思えた。注文住宅の良さを知れたし、人事の方が元営業職の方なだけあってノウハウも知ることができた。
損害保険	2～4日	就業体験・実践型／グループワーク型	●自社サービスを通じた企業へのソリューション提案	対面＋オンライン	その企業で働きたいと思った	丁寧なフィードバックやサポートをしていたので、非常に働きやすい企業だと思ったから。
不動産	1日	グループワーク型	●モチベーショングラフや自分史作成などの自己分析の深掘り、学生同士の共有	対面	どちらともいえない	企業の雰囲気などは自分に合うと感じたが、会社でできることが自分の就職活動の軸に当てはまるかと考えた時、「当てはまる」と言い切れなかったから。
IT	半日	グループワーク型	●新規事業の立案	オンライン	どちらともいえない	参加者が多く、また半日であったので、いまいち企業の特徴を掴みづらかったため。
エネルギー	半日	グループワーク型／セミナー・見学型	●絵を描く心理テスト ●新規事業開拓グループワーク(会社の扱っている業務内容を考慮した上で新たに新規事業のアイデアを話し合っている)	オンライン	その企業で働きたくないと思った	他社と比較して、雰囲気が堅苦しく感じた。

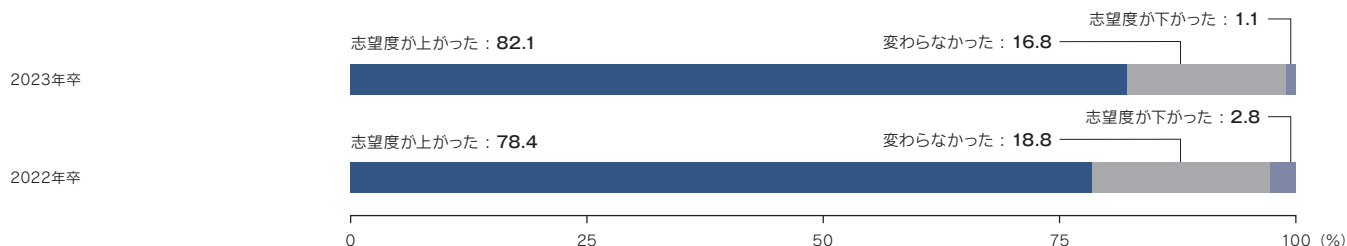
comment

インターンシップ類に参加した学生は72.7%(22卒)→79.3%(23卒)と増加。参加日数は半日38.0%(23卒)が最多だが、2～4日が29.8%(22卒)→33.7%(23卒)と増加し、複数日かけて実施する企業も増えているようだ。平均参加社数は3.7社(22卒)→4.0社(23卒)と増加した。

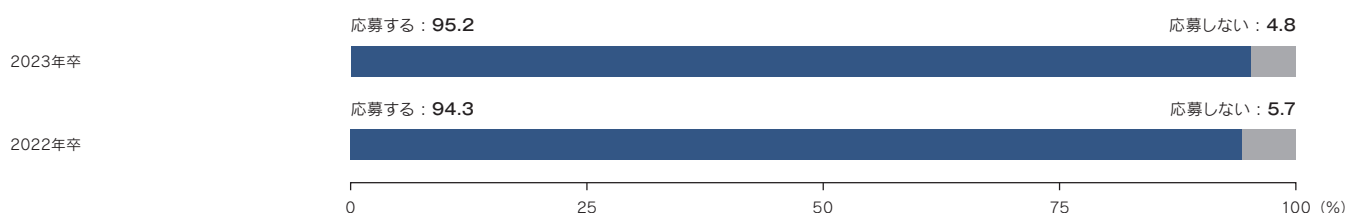
実施内容としてはグループワーク型が71.3%(23卒)で、ボードゲームや企画立案など各企業がバラエティ豊かなプログラムを実施している。

2 インターンシップ類からの応募状況

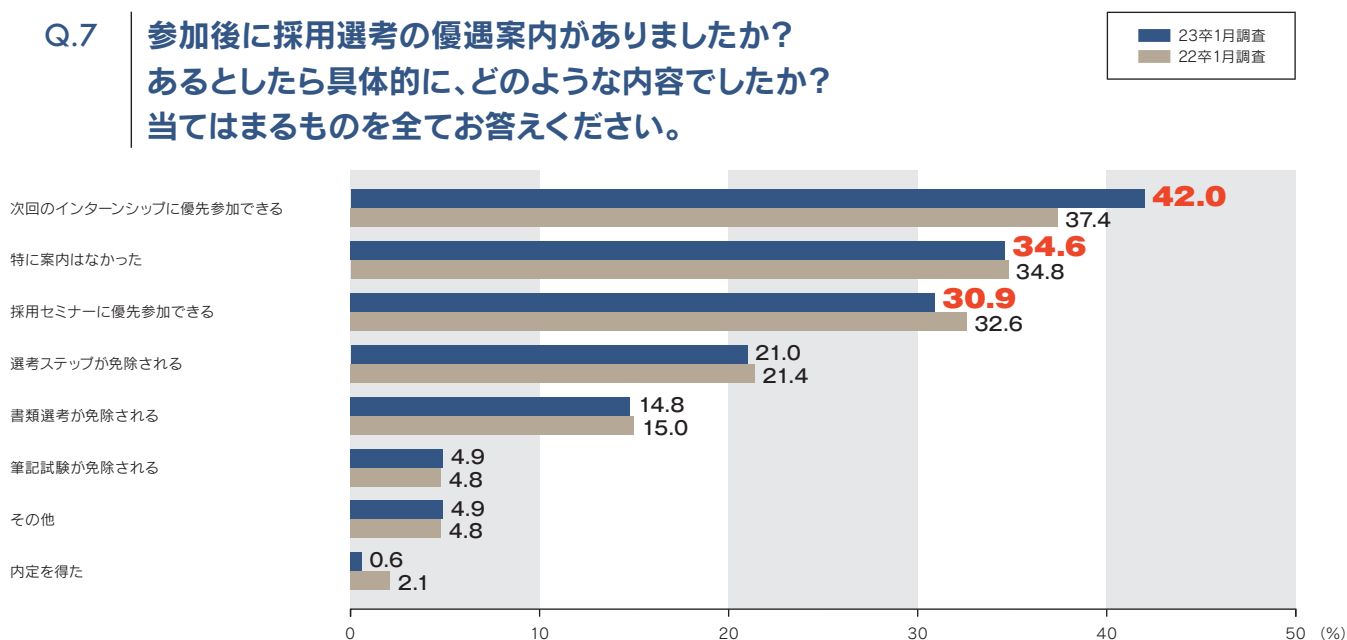
Q.5 インターンシップ類に参加した企業の志望度に変化はありましたか？



Q.6 インターンシップ類に参加した企業の採用募集に応募しようと思いますか？



Q.7 参加後に採用選考の優遇案内がありましたか？ あるとしたら具体的に、どのような内容でしたか？ 当てはまるものを全てお答えください。



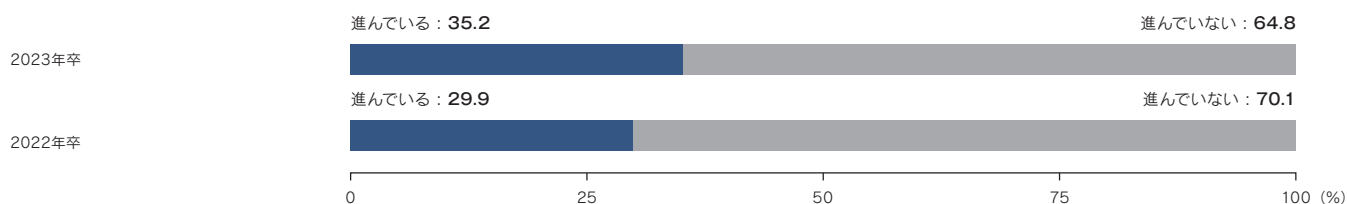
comment

インターンシップ類に参加して、企業への志望度が「上がった」と回答した学生は82.1%(23卒)となり、95.2%(23卒)の学生が「採用募集に応募する」と答えている。

参加者への優遇としては、「次回のインターンシップに優先参加できる」が42.0%(23卒)と最多で、選考への直接的な影響というよりは、インターンシップ類に関しての優遇にとどまる企業が多いようだ。

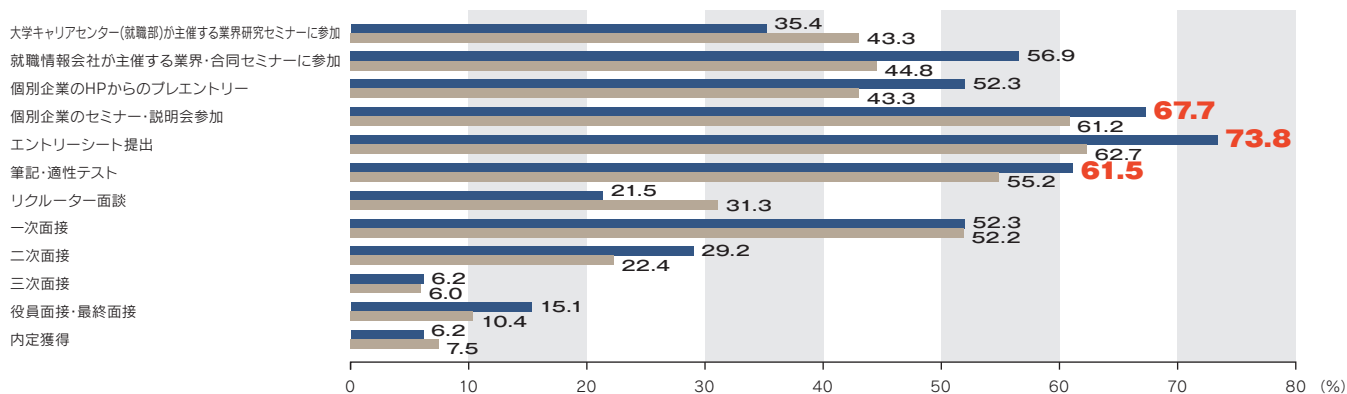
3 選考状況

Q.8 企業の採用選考に進んでいますか？

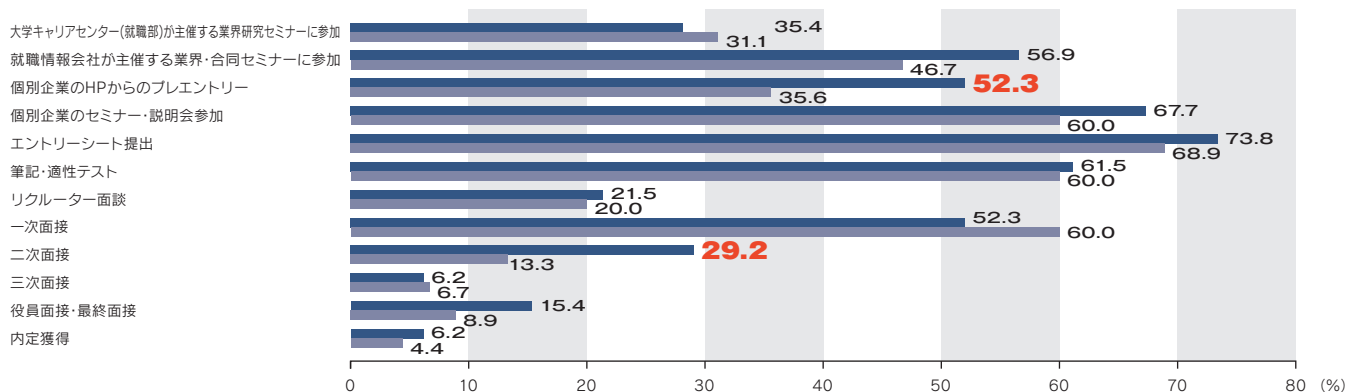


Q.9 現在の採用選考の進捗状況について、当てはまるものを全て選択してください。

22卒1月調査と比較



23卒12月調査と比較



comment

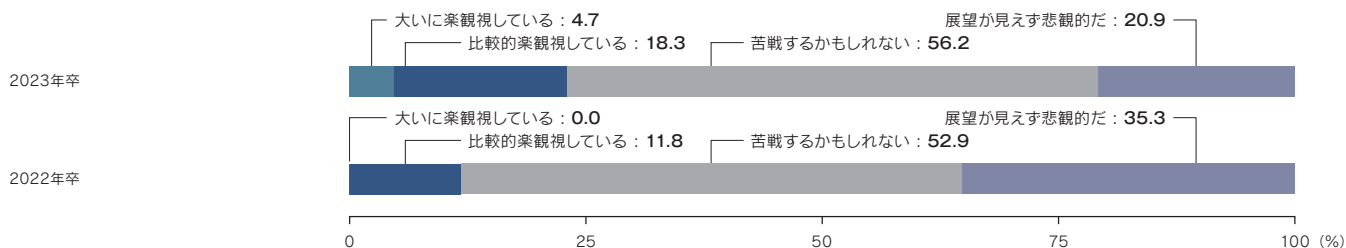
採用選考の進捗状況では「エントリーシート提出」73.8%(23卒)、「個別企業のセミナー・説明会参加」67.7%(23卒)、「筆記・適性テスト」61.5%(23卒)の順となった。

12月調査と比較すると、「二次面接」13.3%(12月調査)→29.2%(1月調査)と「個別企業のHPからのプレエントリー」35.6%(12月調査)→52.3%(1月調査)が大きく伸びている。

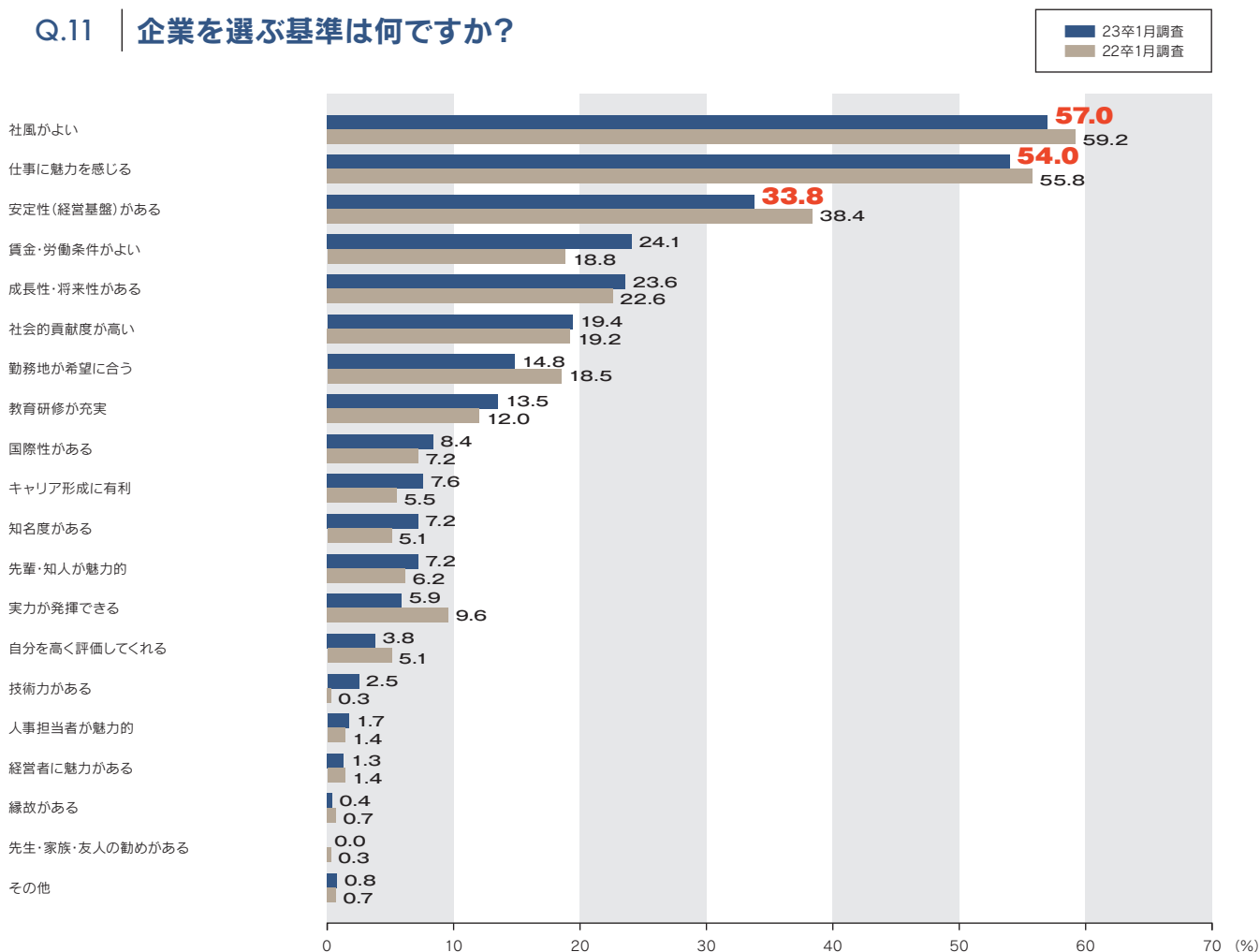
選考の段階を前に進める早期スタート組と、最近就活をスタートした後発組に分かれているようだ。

4 就活観

Q.10 就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。



Q.11 企業を選ぶ基準は何ですか？



comment

12月調査に引き続き、過半数の56.2%(23卒)が「苦戦するかもしれない」と回答しているが、「大いに楽観視している」「比較的楽観視している」が11.8%(22卒)→23.0%(23卒)と大幅にアップ。調査期間である1月7日～16日は新型コロナウイルスによる感染状況が比較的落ち着いていたため、やや楽観的な結果が出たように思われる。

企業を選ぶ基準としては、22卒と変わらず「社風がよい」57.0%(23卒)、「仕事に魅力を感じる」54.0%(23卒)、「安定性(経営基盤)がある」33.8%(23卒)の順になっているが、四番手に「賃金・労働条件がよい」24.1%(23卒)が入ってきたところは、先の見通しが不透明な昨今の経済状況を反映しているようだ。